



建築設備技術者の地位向上と協会創立30周年

野部 達夫
TATSUO NOBE

((一社) 建築設備技術者協会 会長, 工学院大学 建築学部 教授)

皆様、明けましておめでとうございます。本年も協会会員の皆様のご多幸とますますのご活躍を祈念し、ひとこと年頭の所感を申し上げたく存じます。

建築設備技術者の地位向上が我々の悲願として叫ばれ久しくなりますが、会員の皆様は果たしてそれを実感しておられるでしょうか。先日、香川県設備設計事務所協会が主催する第12回建築設備展が高松で開催され、小生も参加する機会を得ました。正直に申しましてあまり期待せずに行ったのですが、なかなかどうして非常に大規模で広範囲な催しで、業界人以外の老若男女も含めて二日間で4,000名も訪れたと言います。そこで印象的だったのは、建築設備に係わる様々な業種の皆様が連携し極めて楽しそうに運営されていた点で、これは我々の地位向上への大きなヒントではないかと感じました。隔年開催なので今回は2020年の秋と聞いておりますが、全国の皆様も高松へ是非お越し下さい。

今年は協会創立30周年になります。この節目となる年を記念して「30年後の建築設備と社会」を考える学生コンペと、一般向けの「せつび萌えフォトコンテスト」を開催中です。協会のホームページにその要綱が出ておりますので、将来の建築設備を担う学生諸君にコンペを大いに宣伝していただきたく存じます。また、どなたにもご応募戴けるフォトコンテストには、会員の皆様を始め職場の皆様やご家族から力作を是非お送り下さいますよう、お願い申し上げます。

先日から協会のホームページ上でJABMEE ナレッ

ジマップが稼働し始めたのをご存じでしょうか。これは建築設備技術者に相応しい講演会や見学会などのイベント情報の的確な検索及び協会が保有する膨大なアーカイブの自由な閲覧を可能とするシステムです。会員の皆様はマイページにて活動状況や取得ナレッジ(ポイント)などを確認することが出来ます。まだ練られていない部分もあり収容されたアーカイブも一部ですが、皆様のご意見を反映して内容の充実を図っていく所存です。

我々の仕事の本質はマニュアルでは分からない不具合を察知し適切に対応して事故を未然に防ぐ、という「気づき」です。このプロセスはなかなか明文化しにくいので業務として顕在化しない部分ですが、技術者という人間にしか出来ない崇高な振る舞いとも言えるでしょう。ナレッジマップによって断片的な知が融合して大きな力になり、意外なところに意外な出会いが発見されることを期待しております。どうか楽しみながら末永くご愛用いただき、技術者として更なる高みを目指してみても如何でしょうか。

間接的ではありますが、このような地道な連携と自己研鑽が我々の地位向上への前提と考えております。

本年も建築設備六団体協議会(空調衛生工学部会、電気設備学会、日本空調衛生工事業協会、日本設備設計事務所協会連合会、日本電設工業協会及び建築設備技術者協会)と共に、建築設備という仕事のやり甲斐を創出していきたいと思います。本年もどうか宜しくお願い申し上げます。